

事業評価書

補助事業名	三沢飛行場等関連公共用施設 (医療施設:三沢市立三沢病院医療機器更新その2)整備事業					
補助事業者名	三沢市長 小檜山 吉紀					
実施場所	三沢市大字三沢字堀口164番地65号(三沢市立三沢病院)					
補助事業の 成果の目標	市民の複雑多岐にわたる医療に対応した迅速・正確かつ安全・安心な医療体制を 確立するため、デジタル多用途脳波計を更新し、安定した検査の実施と治療体制の 維持を図る。 セントラルモニタの更新により入院患者の管理を一元化することにより、患者ごとの 容態変化を発見しやすくし、迅速で確実な治療体制の維持を図る。					
補助事業の内容	デジタル多用途脳波計 1式 セントラルモニタ 1式					
補助事業の 始期及び終期	令和2年度					
事業費及び交付金額		令和2年度				計
	事業費	円 21,703,000	円	円	円	円 21,703,000
	交付金額	20,100,000				20,100,000
補助事業の成果及び 評価並びに地域住民 への周知の実施状況	<p>【補助事業の成果及び評価】</p> <p>デジタル多用途脳波計の更新により機器等の動作が改善され、機器等の動作の遅延による検査・診断の信頼性の低下を防ぐことができたと評価できる。 また、本検査機器を使用する生理検査室技師等へ聞き取りを行ったところ、本検査機器の更新により検査・診断の効率化等の項目において概ね以前より良くなったとの回答が得られたことから、安全で安定した検査の実施及び治療体制が維持できたと評価できる。</p> <p>セントラルモニタの更新により機器等の動作が改善され、加えて更新前の機器と比べ視認性やアラーム管理機能、過去の心拍数等の情報を印刷する機能、容態の急変時に液晶ディスプレイに拡大表示するとともに担当医師等へ自動的に通知する機能といった操作性やモニタリング性能が向上し、入院患者を一元的に管理しやすくなり、容態変化も発見しやすくなったと評価できる。 また、本セントラルモニタを使用する病棟看護師へ聞き取りを行ったところ、本セントラルモニタの更新により一元管理された患者データの効率的な運用等の項目において概ね以前より良くなったとの回答が得られたことから、迅速で確実な治療体制が維持できたと評価できる。</p> <p>【地域住民への周知の実施状況】</p> <p>病院の出入口に当該医療機器更新を特定防衛施設周辺整備調整交付金事業で実施したことを掲示し、病院ホームページや市広報誌にも同内容を掲載した。</p>					
事業の改善策及び 今後の対応	救急告示病院として三沢市民はもとより近隣市町村においても、安定した患者の受け入れ並びに安全で確実な検査、治療の進行を期待されていることから、今後ともデジタル多用途脳波計及びセントラルモニタを活用し、地域医療に貢献する。					
事業評価に際しての 第三者機関の活用の有無	特になし。					